



初代住職の岡本泰雄と坊守の政枝 (1984 年 1 月 18 日撮影)

厳しかった父と優しくった母。末っ子の私は両親と過ごした時間は短かったけど、とても濃いものでした。今の私をみて何と言っているのでしょうか。

恭子 (坊守)

しんらん同人

No.534

9・10

月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-3950-7828 【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

われも ひかりの うちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

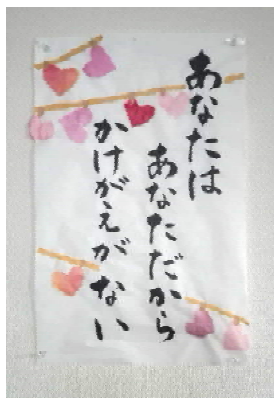
相変わらず「オレオレ詐欺」のニュースが報道されています。お寺にも先日「年金還付詐欺」の電話がかかって来ました。坊守にとつては、この手の電話は二度目でしたので、前回ほどは慌てなかったようですが、それでもその後しばらくは心臓がドキドキしたそうです。

お同行からも詐欺の被害にあわれたとのお話をうかがいますと、何か身を守る方法を考えなければならぬ時代が来ているようです。

その一つが、電話機に「オレオレ詐欺対応機能」(録音機能)を追加することだと思います。(費用は一、二万円。警察署が貸与する場合もあるようです。) 転ばぬ先の杖として、一度ご検討下さい。

先月末から数回にわたって「ピンポンダッシュ」(早朝や深夜に訪問ベルを鳴らして逃げていく)の被害に遭いました。エスカレーターとしては困りますので、やむを得ず防犯カメラを設置いたしました。防犯カメラ作動中」と表示して犯人に警告したのか?何も表示せず犯人を捕まえる方向でいくか?お寺としては悩ましいことです。

心休まる楽しい内容ではありませんがご参考までに記載いたしました。



久野俊子夫人の最後

「13回忌に婦人を偲んで」

誓願寺住職 岡本泰雄



(前号からの続き)

それをおそらく久野さんは、小さい時にでもお聞きになったのではないか、そんな気が私にはするのであります。

それは直接ご本人からお聞きした訳ではありませんから、私の想像でありますけれども、久野さんは浄土宗の檀家で、大変お世話なされたこともあったということを一寸うかがいましたので、恐らく浄土宗のこういう受け取り方を聞いておられたのではないでしようか。

なぜ私はそういうことを想像するかといいますと、皆さんもご存知のように、あの痛々しい、なんとも言葉では言えない様なひどい体の状態でありながら一生懸命に心を使っていた。

善い心になろう、善い事をしよう。その一つの例があのだ点訳をなさった事でしよう。痛い体を持ちながら、健康体でさえも点訳は大変な仕事でありますのに、あの体でありながら床にやすんだままでも点訳をして、万葉集を点訳してそれを盲人協会ですか、そういう方々に寄付された。

これは、何とかして善い事をしようというそこから出ていると私は思っています。

だから、なされる態度というものは実に美しい、立派だし、善い事をしようと努力しておられることは、最初うかがった時に私は明らかに感じました。

それで一生懸命になって実践された。この考え方は、この九品という観無量寿経に説かれた考え方によるものと思われました。下品下生でもよいから、とに角お浄土に参りたい。しかし、出来得れば上品でありたい。

それは、寛子さんという方が18歳という若さで、美しい清らかな心で亡くなっている。更に、亡くなる時に、私はお浄土に参らしてもらってからと言って往かれた。

ああいう人だから、恐らく寛子さんは上の方に参っていただけるだろうと。

純な心で言っているんだから恐らく浄土の上の方だろうと、こう思われたのでありましょう。

だが、自分はとても汚い心だし、そんな上の方には往かれないけれども。下の方でもいい、参らしてもらえさえすれば、それからはそこで修行して寛子さんのいる所まで行きたいと思われたのでありましょう。



久野さんをお訪ねする前に幸田先生から、あまり長くしないで、30分位で止めてくださいというお話が確かあったと思います。

私はそのつもりで行った。またその状態から、これはあまり長くはいかなと思いましたが、段々お話ししているうちに、時間はもう忘れてしまいました。

そして大体お話ししたことはどういことだったかといいますと、随分ひどい言い方だったかも知りませんが、あなたがどんなに努力して一生懸命善い事をしようと思っても、また善い事をしたと思っても、それによってお浄土に参ることは出来ない。

それは何故かと言うと、我々のする善というものは、雑毒の善でしかない。行は虚仮の行でしかない。

雑毒の善というのは毒が混じっている。例えば、善い事をする。何か人に親切をするときでしょうか。そこには毒がまじっている。どんな毒か。「俺がしてやった」という毒がまじっている。「してやった」という気持ちがあります。しかも相手から「ありがとう」と言ってもらいたい気持ちなんです。

そしてお礼を言われないと、今度は腹が立ってきます。もう二度としてやらんぞという気持ちになる。それが、毒がまじっている証拠なんです。

雑というのは「まじる」ということなのです。毒のまじった善しか出来ない。要するに自分を離れた善なんてないんです。全部中心は自分です。

皆様はよくお聞きでしょうが、仏教では布施ということを申しますが。次の三つの事を考える布施はだめだということです。それは何かと申しますと、「私が」「誰々に」「何を与えた」この三つを考えたら布施にならないのです。

ところが、私達はいつも自分を考えているのです。「私が」「お金を」「あの人にあげた」と、こう思っているのです。それを全部思わないでやる行いは残念ながらないのです。ですから、善い事をした、立派なことをした。それは皆「自分が」ということを考えているのです。

心の奥には、何とかいい結果を自分で得ようという気持ちがある。

人のためにしたなんて言っているけれども「情けは人のためならず」で、やっておけば損をせん、いつかはまた返ってくるという気持ちがあるのです。

これは本当に悲しいことなんですけれども、我々のすること、自分を離れたものはないんです。

みんな、自分が、自分が、俺が、俺が、という気持ちであります。

(11・12月号に続く)



ご法座等のご案内

10 月			9 月			
10/23 (日)	10/16 (日)	10/9 (日)	9/25 (日)	9/18 (日)	9/17 (土)	9/11 (日)
午後一時	午前十時	午前十時	午前十時	午前十時	午後二時	正午
定例法座・祥月命日合同法要 【高田慈昭師】	なかよしクラブ(乳幼児から小学生まで)	前住職 岡本泰仁 一周忌法要 定例法座 【岡本信之師】	彼岸会法要・祥月命日合同法要 【高田慈昭師】	なかよしクラブ(乳幼児から小学生まで)	鹿兒島県出身者 物故者追悼法要 (かごしまお念仏の会主催) 参加費..5000円 【加藤純幸師・三重県専念寺坊守】	物故者追悼法要 (婦人会主催) 【加藤純幸師・三重県専念寺坊守】 医療相談 【佐藤公彦医師】

● 十月九日の法要は、故岡本泰仁前住職の一周忌法要を併せて行います。佐藤公彦医師の医療相談は中止いたします。

編集後記

平成二十九年三月の「北組団体参拝」の参加ご希望者は現在、誓願寺枠十五名に対して九名です。移動等ご年配の方々に配慮された内容です。ふるってご参加下さい。一緒にまいりましょう。

住職継職法要は、十一月二十七日(日)に厳修致します。



【孫とリキの散歩風景】



【七月のお盆法要】

【受付口座】

東京信用金庫 椎名町支店 普通口座 1029981
誓願寺 代表役員 古賀尚之

本願寺「宗門総合振興計画へのご懇志」を
次の方々から賜りました。(平成二十八年七月末日現在)

松山照美様。小松米廣様。青井三和子様。加藤富美子様。
西部正毅様。澤田美智江様。池神幸子様。北林龍雄様。
岡山栄美子様。佐藤公彦様。阿部弘善様。坪井光恵様。
末島勇治様。土生隆一様。永田武子様。幸毛カズエ様。
鈴木法三様。守崎昌彦様。武曾いせ様。古賀尚之様。